



I 会の目的と総会について

本会は、奉仕の精神に基づき、鳥取県立倉吉養護学校の理解と振興を図り、広く障がいのある児童生徒の福祉の増進に努めることを目的として設立しました。毎年6月ごろ総会を開催し事業や予算を決定しています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、7月中旬に書面審議としました。

II 主な事業の紹介

1 行事を通じての交流推進

例年5月に開催され、たくさんの生徒が楽しみにして参加していた「鳥取県障がい者スポーツ大会」は、昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症のために残念ながら中止となりました。

- ① 「倉養大運動会」は、5月22日（土）に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の警報や長雨によるグラウンドの悪状況をふまえ、今年度は中止としました。その代りとして「公開体育」という形態で、体育館を会場に学部やグループで入れ替わりながら、体育の学習をしている様子をリモート中継や動画で流し、全校で視聴、応援し合いました。保護者には後日参観日にその動画を視聴していただきました。
- ② 10月9日（土）に「くらよう祭」を開催しました。昨年と同様、今年度も新型コロナウイルスへの感染予防対策として、来場者を保護者の皆様のみ制限し、内容も子どもたちが、日頃学んだことの発表と作業製品販売のみとしました。普段の学習の成果をしっかりと保護者の皆様に見ていただくことができました。
- ③ 例年2月に実施しておりました「くらようショップ」ですが、新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、中止としました。地域をはじめ多くの方と交流でき、倉吉養護学校のことや生徒の学習などについて関心を持っていただく良い機会であったため、とても残念でした。

2 交流学习の推進及び体験学習・体験入学

昨年に引き続き、本年度も、新型コロナウイルス感染症の予防のため、残念ながら学校間交流は中止となりましたが、居住地校交流は、小学部19名、中学部8名の児童生徒が行いました。

また、外部の学校から本校への体験学習は小学部19名（21回）、中学部5名（7回）、体験入学は高等部6名（6回）が行いました。

3 部活動の支援

コロナ禍ではありましたが、多くの生徒は部活動を楽しみにしており、今年度より生徒の要望に応じてカルチャークラブを新たに新設することとしました。このため、部活動は令和3年度より卓球部、バドミントン部、ダンス部、カルチャークラブの4つとなりました。職員間で感染対策をしっかりと話し合い、県教育委員会とも協議を重ねた結果、2学期からの実施となりました。当初の計画では、年間21回の部活動を計画していましたが、感染対策のため6回の活動となりました。今年度、新設したカルチャークラブでは、iPadを使って写真を撮る活動などを行いました。生徒はとても楽しく活動する様子が見え、また学部を超えて生徒同士が関わる様子もあり、部活動のよさを知ることとなりました。



4 進路保障の充実

- ① 中学部・高等部の生徒は、個々の進路状況に合わせて新型コロナウイルス感染症の予防対策を取りながら産業現場等における実習に取り組みました。実習先は、一般企業や福祉サービス事業所等、生徒一人一人に合わせて違っていますが、働くこと、事業所で過ごすことに精一杯取り組み、卒業後の生活を体験する貴重な機会となりました。
- ② 進路に係る情報提供も集まるのが難しく、形を変えて実施しました。福祉サービス事業所での就労の様子の動画を学校HPで紹介したり、卒業生の現在の生活の様子や事業所の情報を進路だよりに掲載したり、懇談で進路に関する動きを個々に伝えたりして、保護者への情報発信に努めました。



- 5 会員募集 本年度の会員数は延べ171名で、会費合計は194,000円でした。

ご協力ありがとうございました。